

第690回

日本小児科学会東京都地方会講話会 プログラム

日 時: 2023年6月10日(土)午後2時00分

来場開催会場: アットビジネスセンター八重洲 501 号室

ライブ配信 URL:

https://nihon-u-ac-jp.zoom.us/j/88526612295?pwd=azdnMGQ3SFd4QkF2TC8vSW52VVQ4QT09



ミーティング ID:885 2661 2295 パスコード:505327

参加方法	参加費	教育講演受講単位及び 学術集会参加単位について	備考
来場参加	1,000円	小児科領域講習1単位(iii貼付用) 学術集会参加単位(iv-B貼付用)	*単位を取得するためには教育講演全て の聴講が必要(60分)
WEB参加	無料	単位配布のご用意はございません。	* WEB にてご視聴いただく場合、聴講後に視聴者ログ、視聴時間などの情報 共有をいただきますことをご了解お願いいたします。



【会場アクセス】

- JR 東京駅(八重洲口)より徒歩約10分
- ■日比谷線 八丁堀駅より徒歩 2 分 ※日比谷線八丁堀駅(A5 出口)

アットビジネスセンター八重洲 501 号室

東京都中央区八丁堀 1-9-8 八重洲通ハタビル 5・6 階

※建物の外観:ガラスカーテンウォール

※看板表記: ABC conference room

【東京都地方会】

会 長:森岡一朗(日本大学医学部小児科主任教授) 主幹校:日本大学医学部小児科 担当:岡橋 彩

連絡先: jpstokyo-office@umin.ac.jp

※講話会中の緊急のご連絡は会場 03-6627-2151 まで

東京都地方会 HP: https://plaza.umin.ac.jp/jpstokyo/



第690回日本小児科学会東京都地方会講話会プログラム

(1題6分、指定発言5分、追加討論3分以内厳守のこと) 《プログラム係 日本大学小児科 岡橋 彩》

一般演題(1)14:00 - 14:35 座長 春日 悠岐(日本大学小児科)

- 1) 市販薬の過量内服が常習化していた 13歳女子例
- ○津浦 海里、木島 俊英、岸田 さなえ、前田 直則、佐藤 利永子、鈴木 絵理、山澤 一樹、藤田 尚代、三春 晶嗣

(独立行政法人国立病院機構東京医療センター小児科)

13歳女子。市販のデキストロメトルファン錠を一度に15錠内服後、嘔気、上腹部痛、呂律緩慢およびふらつきが出現して救急搬送された。多弁で興奮していたが徐々に改善した。入院後、不安の解消や気分高揚の目的で都心の繋華街に出入りし、市販薬の不適切使用やリストカットを常習的に行っていたことが判明した。SNSを通じて若年層においても市販薬の過量内服が流行している現在を反映した症例であったため報告する。

○指定発言 杉原 正子(まさこ心のクリニック自由が丘)

2) レニン上昇を伴わない腎血管性高血圧症の1例

 ○鈴木 智恵香¹⁾、越智 彩子²⁾、安達 昌功²⁾、安部 マリア²⁾、本多 加奈²⁾、茂木 桜²⁾、豊田 純也²⁾、 永原 敬子²⁾、阿部 祥英³⁾、山岡 大志郎⁴⁾、加藤 真理子⁴⁾、藤井 隆成⁴⁾、富田 英⁴⁾、水野 克己²⁾
(¹⁾ 昭和大学病院臨床研修室 ²⁾ 同 小児科、³⁾ 同 江東豊洲病院こどもセンター

4) 同 小児循環器・成人先天性心疾患センター)

13歳女子。7歳から頭痛で通院歴あり。学校健診での心電図異常を機に高血圧を指摘され、受診した。190/125 mmHg の高血圧があり、造影 CT で両側腎血管の狭窄を認め、血管造影検査で線維筋性異形成による腎血管性高血圧症と診断した。血漿レニン活性の上昇や電解質異常は認めなかった。レニン上昇を伴わない腎血管性高血圧症の病態について考察する。

3) 一過性甲状腺機能亢進症を合併した組織球性壊死性リンパ節炎の1例

〇石川 皓久 1 、波多野 恵 1,2 、稲井 郁子 1 、細谷 要介 1 、梅原 直 1 、長沖 優子 1 、谷本 英里 1 、 長谷川 大輔 1 、小澤 美和 1

(1) 聖路加国際病院小児科、2) 東京医科歯科大学分子腫瘍医学)

10歳女児。15日間発熱が持続し、解熱後20日で再度発熱したため不明熱精査目的で入院した。身体所見で頸部及び腋窩リンパ節腫脹を、血液検査でWBC低値、FT3・FT4高値、TgAb陽性を認めた。リンパ節生検より組織球性壊死性リンパ節炎(HNL)と診断した。入院後、臨床症状と検査所見は無治療で自然軽快した。HNLに甲状腺機能亢進症を合併した稀な症例を経験したため、文献的考察を加え報告する。

一般演題(2)14:35 - 15:05 座長 清宮 綾子(イムス冨士見総合病院小児科)

- 4) 体重増加不良を契機に診断された乳児消化管アレルギー合併 Noonan 症候群の一例
- ○長谷川 里奈¹⁾、千代反田 雅子¹⁾、岡田 このみ¹⁾、伊上 敦哉¹⁾、松本 和華子¹⁾、高橋 英城¹⁾、 赤松 信子¹⁾、稲垣 夏子²⁾、山中 岳¹⁾

(1) 東京医科大学病院小児科・思春期科、2) 同 遺伝子診療センター)

4か月男児。生後2か月より繰り返す嘔吐と体重増加不良を認め入院。肺動脈弁狭窄、特異顔貌、右停留精巣を認め、遺伝学的検査でPTPN11に病的バリアントを同定し、Noonan症候群(NS)と診断した。さらに、ミルクのALSTの反応亢進および除去試験による嘔吐の改善を認め乳児消化管アレルギーの合併を考えた。NSが乳児消化管アレルギーを合併したという報告はない。先天異常症候群が存在する場合も、他の体重増加不良の原因を検討する必要がある。

5) 1歳以上5歳未満の小児に対する当院でのミダゾラムロ腔用液(ブコラム®)の使用経験 ○長 夏希、宮奈 香、大石 芳久

(日本赤十字社医療センター小児科)

当院では2021年4月から2022年9月までの間に、けいれん重積状態の1歳から5歳未満の小児10例14機会にミダゾラム口腔用液を使用した。発作が収束したのは2機会で、奏効率は14%であった。奏功した2機会の薬剤投与までの時間は平均15分と、全機会の平均43分に対し短かった。発作の持続時間が長いほど薬剤の効果が低下する可能性が考えられ、重積状態の児では速やかに静脈路を確保し追加治療に移行できる態勢を整えることが重要である。

6) 新生児における電極温度 37℃での経皮 CO。と PaCO。の比較

〇山田 洋輔、間野 智子、桐戸 雄紀、岡本 清二、金淵 昭一郎、四手井 綱則、羽田 謙太郎、 池田 健太、和佐 正紀、北村 怜、溝上 雅恵、長谷川 久弥

(東京女子医科大学附属足立医療センター新生児科)

国内の NICU において経皮 CO_2 モニタリングは電極温度 37 \mathbb{C} で行われることが多いと報告されているが、正確性についてのデータは乏しい。当院の 40 症例(平均在胎週数 33.4 週、出生体重 1,833 g)において、経皮モニタと血液ガスの CO_2 を比較した。経皮モニタと血液ガスの相関係数は 0.67、差は -3.9 ± 5.5 mmHg であり、37 \mathbb{C} でも臨床使用可能であると考えられた。

* * 休 憩 15:05-15:15 * *

感染症だより15:15 - 15:35(講演:15 分 + 質疑応答:5 分)講師神谷元 (国立感染症研究所感染症疫学センター)

共催セミナー 15:35 - 16:15 (講演:40分)

「症候性先天性サイトメガロウイルス感染症に対する抗ウイルス薬治療」

座長 水野 克己 (昭和大学医学部小児科学講座) 講師 森岡 一朗 (日本大学医学部小児科学系小児科学分野)

先天性サイトメガロウイルス(CMV)感染症は古くから知られている母子感染症である。出生時から何らかの症状を有する場合、症候性先天性 CMV 感染症と診断され、高率に難聴や精神運動発達遅延などの神経学的後遺症を残す。抗 CMV 薬であるバルガンシクロビル治療により抗ウイルス効果、難聴の改善や症状抑制効果が示され、2023 年 3 月 27 日に保険適用となった。臨床試験の結果や本薬剤の適正使用について講演する。

共催:田辺三菱製薬株式会社

* * 休憩 16:15-16:25 * *

教育講演 16:25 - 17:30 (講演:60分+質疑応答:5分)

「小児科医が知っておきたいてんかんの新しい話題とゲノム医療」 小児科領域講習1単位

座長 森岡 一朗(日本大学医学部小児科学系小児科学分野)

講師 加藤 光広(昭和大学医学部小児科学講座/昭和大学病院てんかん診療センター)

てんかんの定義や発作と病名の分類の改訂、治療薬と難病指定疾患の増加、外科手術の進歩など、てんか んの診療に必要な知識はこの数年で大きく変化した。特に、小児期に特徴的な年齢依存性てんかん性脳症 (現在の発達性てんかん性脳症) で、チャネル病に加え多彩な分子病態が明らかになり、分子標的治療・精 密医療が行われ始めている。予防接種後脳症とてんかん遺伝子の関連も明らかにされている。てんかんの ゲノム医療の現在と今後の見通しについて提示する。

会員の皆様へ事務局より重要なお知らせ

【会場費について】

2023年6月より講話会会場費は1,000円とさせて頂きます。

【2023 年度年会費納入のお願い】

2023 年度年会費を 2024 年 3 月末日までに【会員マイページ】より納入手続きいただきますようお願 いいたします。

- ※ 2022 年度以前未納の場合も【会員マイページ】よりお手続きお願いいたします。
 - 3年間未納の場合、自動退会となりますのでご注意ください。

会員登録事項変更等についてもマイページより各自お手続きお願いいたします。

【東京都地方会名誉会員のご推薦について】

東京都地方会では名誉会員の推薦を随時募集しています。詳しくは東京都地方会ホームページにて ご確認お願いいたします。

ご不明な点がございましたら事務局までご連絡をお願いいたします。

【次回以降開催予定】 2023 年 7 月 8 日(土) 来場(アットビジネスセンター八重洲)+ ライブ配信

2023 年 9 月 9 日 (土) 来場 (アットビジネスセンター八重洲) + ライブ配信

2023 年 10 月 14 日 (土) 来場(アットビジネスセンター八重洲)+ ライブ配信

【担当医局】日本大学医学部小児科

【東京都地方会 HP】

https://plaza.umin.ac.jp/jpstokyo/



※講話会中は会場 03-6627-2151 へご連絡ください。

連絡 ⊠: jpstokyo-office@umin.ac.jp

演題募集中!

登録方法などは詳しくは東京都地方会ホームページをご確認ください。

◆ 関連学会の講演情報 ◆

第 123 回東京小児科医会学術講演会のご案内

オンデマンド開催:小児科領域講習2単位取得

オンデマンド開催期間:令和5年8月5日(土)~令和5年8月20日(日)

視聴申し込み期間:令和5年6月29日(木)~令和5年8月10日(木)

詳細:東京小児科医会ホームページ https://tokyo-pediatrics.org/

開催に関する問い合わせ先:編集室なるにあ

E-mail: tpa@narunia.co.jp

電話:03-3818-6450 (平日9:00~17:00)